

(1) 令和6年度決算及び令和7年度9月補正予算について

(2) 部活動の地域移行について

(3) 鳴く虫と郷町

① 虫がつかない人とまち「第20回 鳴く虫と郷町」

② 伊丹酒蔵通り「まち灯りと鳴く虫」

令和6年度(2024年度)決算概要

令和6年度は、日本経済が緩やかに景気回復する一方で、物価の上昇に賃金の伸びが追いつかず、市民生活は”ゆとり”を実感できない状況が続きました。

本市では、阪神間で初の中学校給食無償化を実施するとともに、児童クラブや産後ケア事業の充実など、積極的に「未来への投資」を実施し、市民の皆様が希望を抱くことのできる「未来が輝くまちづくり」に取り組みました。

伊丹市

総合政策部・財政基盤部

歳入決算額(A)

958億9千万円

【前年度】904億9千万円(+6.0%)

歳出決算額(B)

946億4千万円

【前年度】890億4千万円(+6.3%)

翌年度へ繰り越すべき財源(C)

4億8千万円

実質収支額
(A)-(B)-(C)

7億7千万円

【前年度】11億円(△29.7%)

1

未来への投資

- 中学校給食の無償化 阪神間で唯一
- 私立保育園誘致により保育定員を拡大
- 民間児童クラブを誘致 本市で初めて
- 産後ケア事業の充実

2

安全第一のまち

- 新庁舎グランドオープン(令和7年3月)
- 学校体育館の空調設備を整備(11校分)
- 物資備蓄の強化
(発電機・段ボールベッド・トイレキット)
- 防災啓発イベントの開催
(阪神・淡路・大震災から30年)

3

DXの推進

- 子ども電子図書館の導入 本市で初めて
- データ連携型生成AIの導入
(生産性向上・働き方改革の推進)
- 環境ビッグデータを活用して将来の
水道管路の破損確率を解析

4

グリーン社会の実現

- 民間企業と連携した体験型環境
啓発イベントや広報啓発を実施
- 連携協定を結ぶ2市町と協働し、
市民参加型の自然環境保全再生
プロジェクトを実施
- 公用車を電気自動車に更新

令和6年度において、物価高騰の影響を受ける市民生活を支援するため、国の「物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金」2,915,531千円を活用した物価高騰対策に取り組みました。

低所得世帯臨時特別給付金 定額減税補足給付金

2,144,541千円

エネルギー・食料品価格等の物価高騰に直面し、特に家計への影響が大きい低所得世帯(住民税非課税世帯等)に対し、1世帯当たり**10**万円を支給するとともに、世帯内で扶養されている18歳以下の子ども1人につき**5**万円を支給しました。また、定額減税しきれないと見込まれる所得水準となる納税義務者に対し、減税しきれない額に応じた金額の支給を行いました。

- ▶R5年度分の住民税非課税世帯への子ども加算【5万円】 ▶R5年度分の住民税均等割のみ課税世帯【10万円】/子ども加算【5万円】
- ▶R6年度低所得世帯【10万円】/子ども加算【5万円】 ▶定額減税補足給付対象者

非課税世帯臨時特別給付金

692,733千円

エネルギー・食料品価格等の物価高騰に直面し、特に家計への影響が大きい住民税非課税世帯に対し、1世帯当たり**3**万円を支給するとともに、世帯内で扶養されている18歳以下の子ども1人につき**2**万円を支給しました。

- ▶R6年度分の住民税非課税世帯【3万円】/子ども加算【2万円】

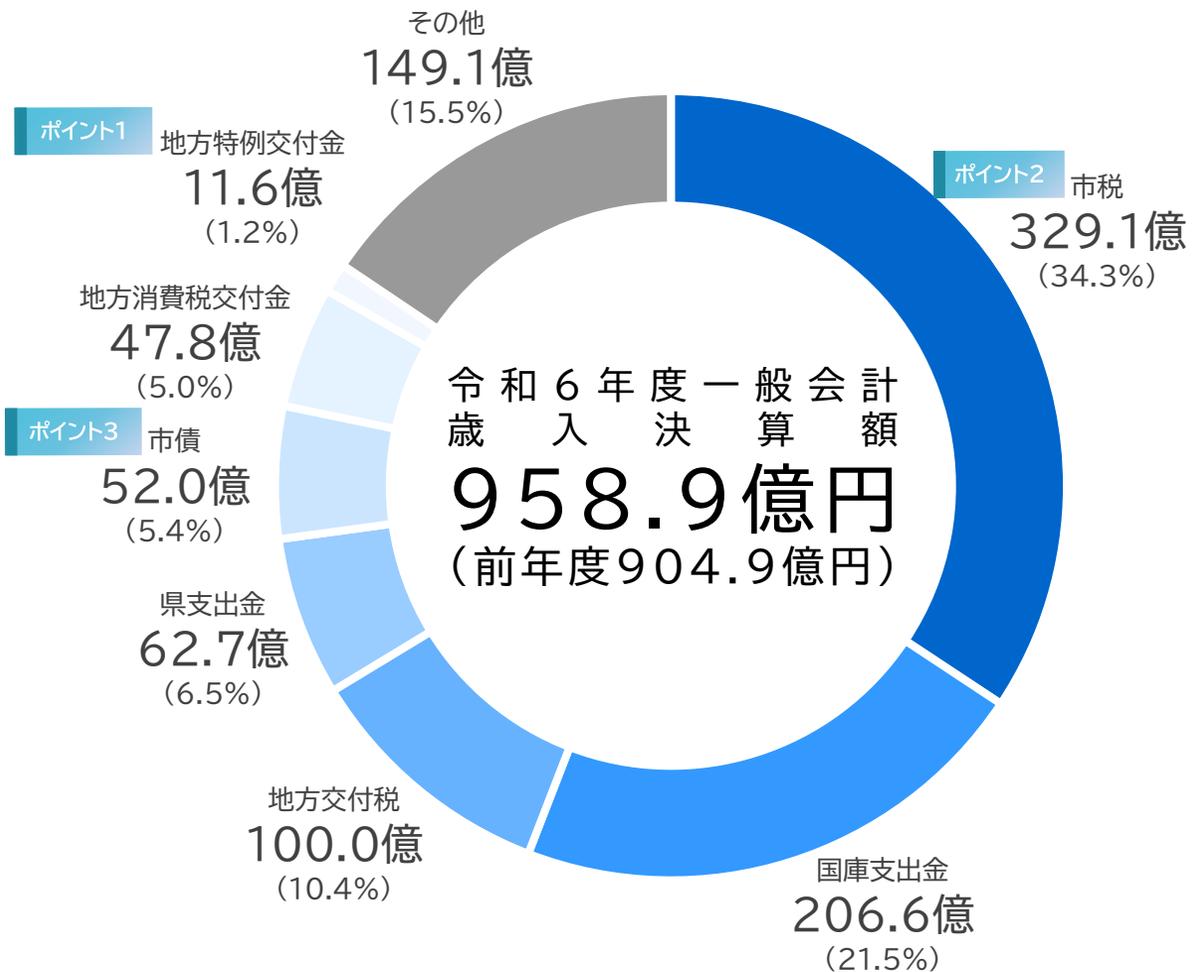
学校給食費等無償化事業

300,693千円

子育て世帯の負担軽減を図るため、教育費の負担が大きい中学生については学校給食費を全額無償化し、小学生の学校給食費については食材費上昇分を公費で負担しました。

歳入決算(一般会計)の分析

歳入総額 **95,892,576千円** (R5 90,489,290千円)
 【対前年度】 +5,403,286千円 (+6.0%)



ポイント1

**地方特例
交付金** **11.6億円**
 【対前年度】+9億1千万円(+366.2%)

市税の定額減税の減収補てん等により、前年度に比べ大幅増となりました。

ポイント2

市税 **329.1億円**
 【対前年度】▲7億1千万円(▲2.1%)

定額減税等による個人市民税の減などにより、前年度に比べ減となりました。(地方特例交付金による補てんを考慮すると、増となります。)

主な増減

- ・個人市民税 114億9千万円(▲5億6千万円)
- ・法人市民税 27億1千万円(▲1億8千万円)

ポイント3

市債 **52.0億円**
 【対前年度】+17億6千万円(+51.2%)

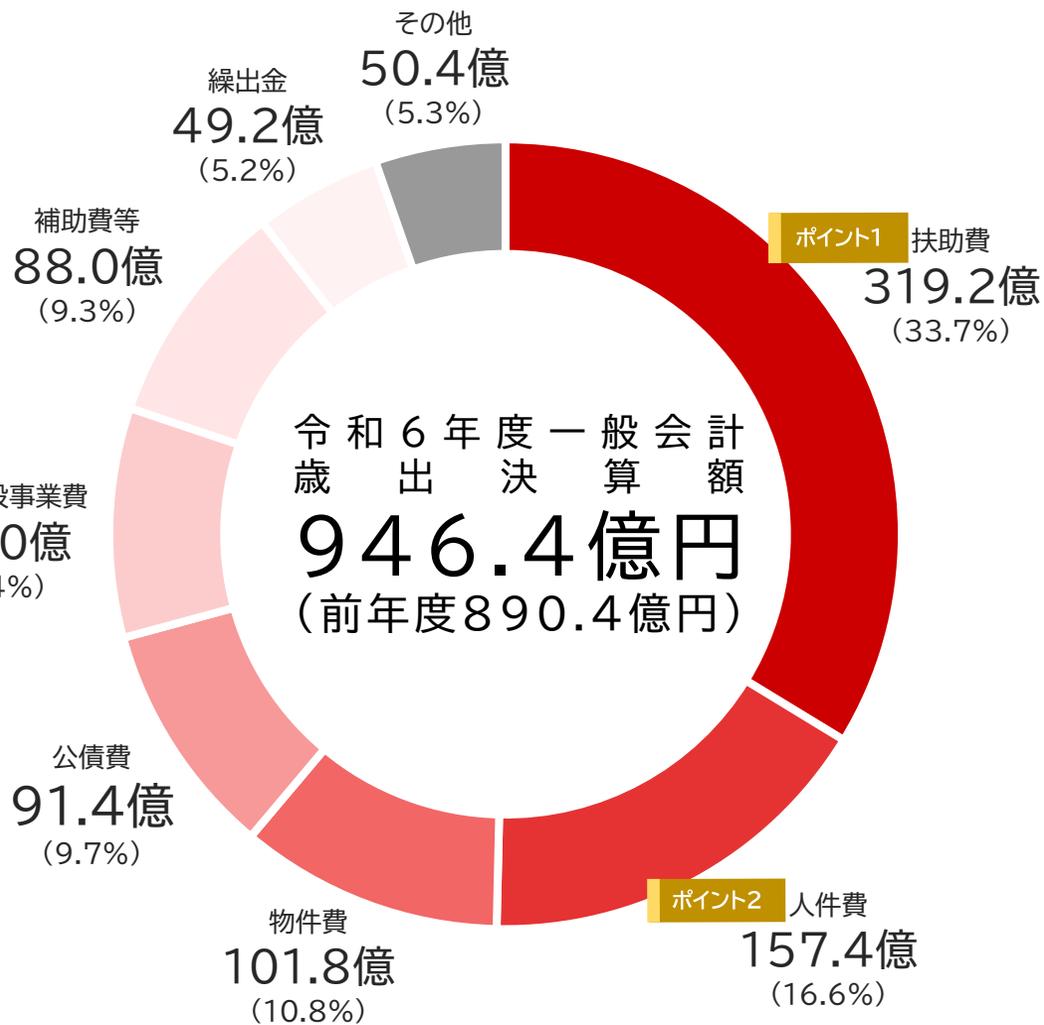
新庁舎整備や消防施設整備に伴う地方債の発行により、前年度に比べ増となりました。

主な増減

- ・新庁舎整備事業債 16億7千万円(+9億7千万円)
- ・消防施設整備事業債 4億8千万円(+3億4千万円)
- ・保育所施設整備事業債 皆減(▲1億9千万円)

歳出決算(一般会計)の分析

歳出総額 **94,638,158千円** (R5 89,035,980千円)
 【対前年度】 +5,602,178千円 (+6.3%)



ポイント1

扶助費 **319.2億円**
 【対前年度】+21億円(+7.0%)

賃金・物価の上昇に伴う保育所保育委託料、障害福祉サービス費の増や、制度改正に伴う児童手当の増等により、前年度に比べ微増となりました。

主な増減

- ・保育所保育委託料・施設型給付費 70億3千万円(+8億3千万円)
- ・障害福祉サービス費等 73億8千万円(+7億8千万円)
- ・児童手当交付金 33億7千万円(+3億7千万円)

ポイント2

人件費 **157.4億円**
 【対前年度】+16億9千万円(+12.0%)

人事院勧告に伴う給与改定や、会計年度任用職員の勤勉手当の創設により、前年度に比べ増となりました。

主な増減

- ・給与・報酬等 150億5千万円(+11億3千万円)
- ・退職手当等 6億9千万円(+5億6千万円)

ポイント3

普通建設事業費 **89.0億円**
 【対前年度】+21億2千万円(+31.3%)

新庁舎整備事業や消防施設整備事業、また民間保育所整備に係る補助等により、前年度に比べ増となりました。

主な増減

- ・新庁舎整備事業 22億9千万円(+13億8千万円)
- ・消防施設整備事業 5億5千万円(+3億9千万円)
- ・児童福祉施設整備事業 6億4千万円(+3億6千万円)

市の貯金と借金

基金残高

財政調整基金 139億4千万円

【対前年度】+38億4千万円(+37.9%)

● 市の貯金にあたる財政調整基金の残高は増加

統合新病院の建設費用の増嵩(インフレスライド)に備えるための積立等の結果、財政調整基金の残高は139億4千万円となり、前年度に比べ増となりました。

(単位:億円)

	R2	R3	R4	R5	R6
財政調整基金残高	49.7	58.9	72.5	101.0	139.4
(うち新病院分)	-	-	-	21.4	50.9

市債残高

555億1千万円

【対前年度】▲36億9千万円(▲6.2%)

(うち普通債350億5千万円)
【対前年度】+7億3千万円(+2.1%)

● 市の借金にあたる市債の残高は減少

新庁舎整備事業をはじめとした普通建設事業の実施に伴う借入で普通債残高は増加しましたが、特例債の繰上償還を実施したため市債全体の残高は、前年度に比べ減となりました。

(単位:億円)

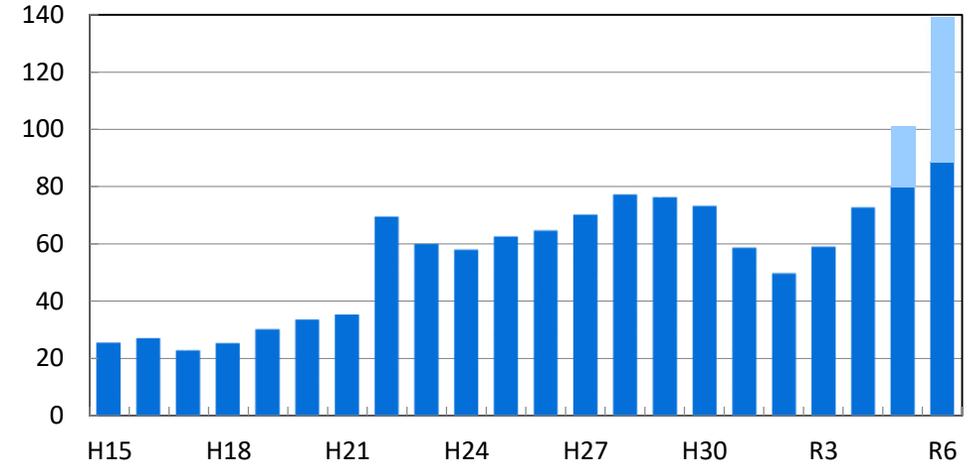
	R2	R3	R4	R5	R6
年度末市債残高	609.5	646.0	651.1	592.0	555.1
うち普通債	288.2	331.2	355.3	343.2	350.5
うち特例債	321.3	314.8	295.8	248.8	204.6

【普通債】・・・道路や建物の建設に使われた借金で、税金(市税)で返済していくもの

【特例債】・・・返済のための財源を国が手当するもので、国民全体の借金であるといえるもの

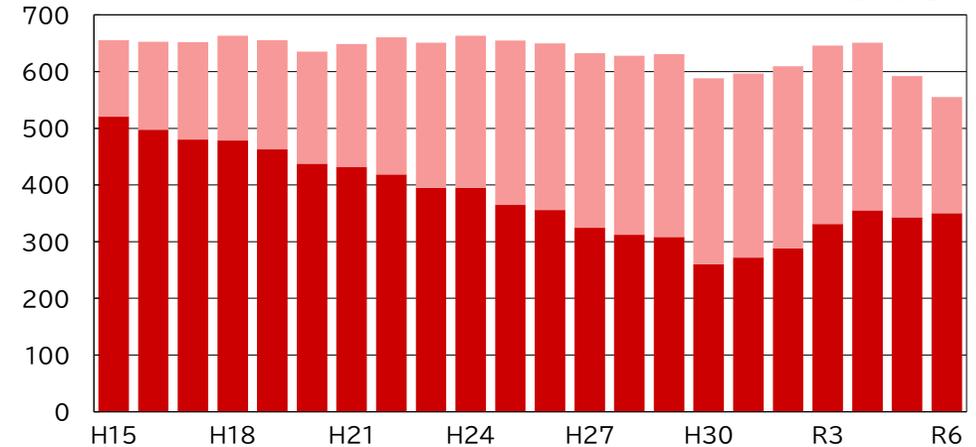
■ 財政調整基金残高 ■ 新病院分残高

(単位:億円)



■ 普通債残高 ■ 特例債残高

(単位:億円)



実質収支の推移

実質収支

【実質収支】…歳入歳出を差引したもの(形式収支)から、翌年度へ繰り越すべき財源を除いた実質的な収支

7億7千万円

R3	R4	R5	R6
11億1千万円	9億円	11億円	7億7千万円

47年連続黒字!

健全化判断比率等の推移

実質赤字比率※1

行財政プラン目標値

—

発生させない

R3

R4

R5

R6

—

—

—

—

達成

連結実質赤字比率※1

行財政プラン目標値

—

発生させない

R3

R4

R5

R6

—

—

—

—

達成

実質公債費比率

行財政プラン目標値

4.3%

R6年度で3%~7%程度

R3

R4

R5

R6

4.5%

4.5%

4.6%

4.3%

達成

将来負担比率※2

行財政プラン目標値

—

R6年度で15%~55%程度

R3

R4

R5

R6

—

—

—

—

達成

※1 実質赤字や連結実質赤字比率が無い場合は、「—」と表記しています。
 ※2 将来負担比率が算定されない場合は、「—」と表記しています。

財政指標の推移

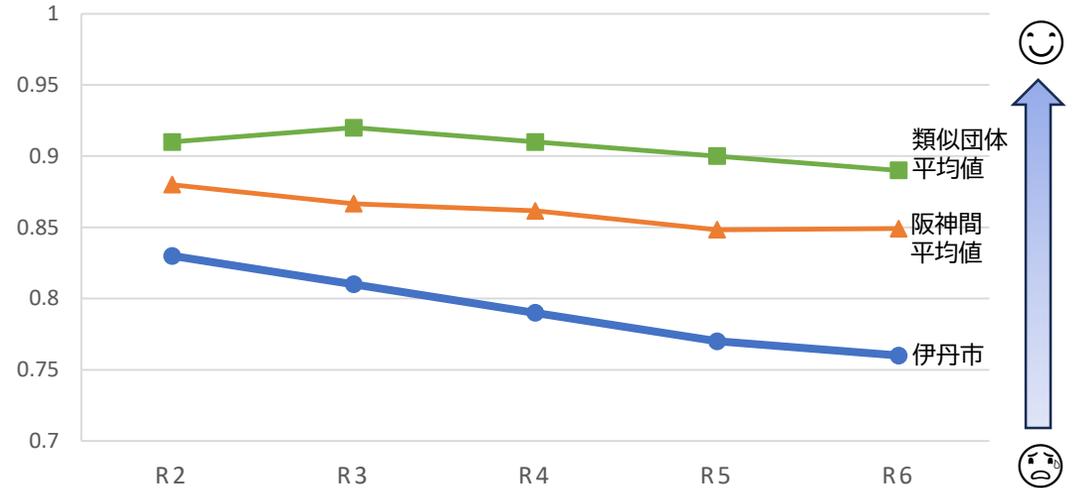
財政力指数 0.76

基準財政収入額を基準財政需要額で割った数値の過去3カ年の平均値で、この値が1に近いほど必要経費を自らの税収で賄えることを意味します。この値が高いほど、普通交付税算定上の留保財源が大きいことになり、財源に余裕があるといえます。

● 基礎的な財政力を表す財政力指数は前年度より低下

基準財政需要額の増加が基準財政収入額の増加を上回っており、財政力指数は低下する傾向です。本市の指数は、阪神間及び類似団体の平均値と比較して低い状態が続いています。

	R2	R3	R4	R5	R6
財政力指数	0.83	0.81	0.79	0.77	0.76
(阪神間平均値)	0.88	0.87	0.86	0.85	0.85(速報値)
(類似団体平均値)	0.91	0.92	0.91	0.90	0.90(速報値)



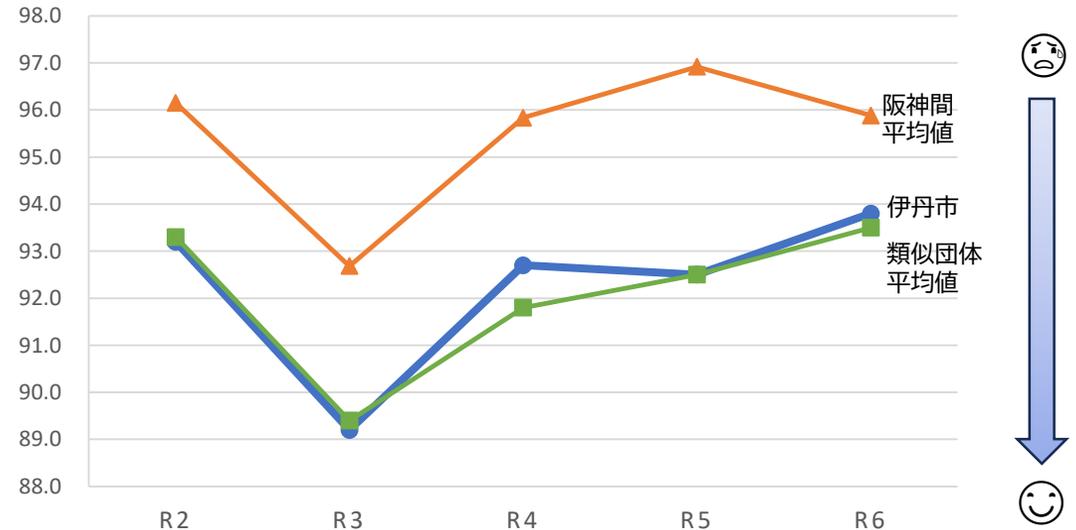
経常収支比率 93.8%

地方税・普通交付税などの経常一般財源が、人件費・扶助費・公債費などの経常的な経費にどの程度充当されているかを判断する指標で、この比率が低いほど弾力的な財政運営を行えることを意味します。

● コロナ禍において、一時的に比率が改善していたものの、再び上昇傾向

都市の成熟化により賃金上昇に伴う人件費の増加や、物価上昇に伴う物件費の増加等により、対前年度+1.3%ポイントとなりました。

	R2	R3	R4	R5	R6
経常収支比率	93.2	89.2	92.7	92.5	93.8
(阪神間平均値)	96.2	92.7	95.8	96.9	95.9(速報値)
(類似団体平均値)	93.3	89.4	91.8	92.5	93.5(速報値)



【阪神間平均値】は、尼崎市、西宮市、芦屋市、宝塚市、川西市、三田市の平均値。

【類似団体平均値】は、国勢調査をもとにした人口と産業構造で分類された全国の市町村のうち、本市と同分類自治体の平均値。

将来を見据えた持続可能な行財政運営

本市では、更なる行財政改革を推進すべく令和3年度から令和6年度までを計画期間とする伊丹市行財政プランを策定し、「将来を見据えた持続可能な行財政運営～少子高齢化時代における満足度の高い行政サービスの提供に向けて～」という基本理念に基づき、行財政改革の取組を進めてきました。

取組
効果額

令和6年度

29億2千万円

徴収体制の強化などの事務事業の見直しや効率化に取り組んだことのほか、収益事業収入などの臨時的な効果により、取組効果額は29億2千万円となりました。また、計画期間全体の取組効果額は、計画値を上回る113億5千万円となりました。

● 取組効果額の内訳

	R6決算	R3～R6 4年間計	(R3～R6 計画値)
事務事業の見直し・効率化、組織力の強化	13.2億円	46.0億円	(15.7億円)
徴収体制の強化、 電力・ガス自由化による光熱費対策 他 (一般会計)	7.0億円	25.7億円	(11.1億円)
徴収体制の強化 他 (特別会計)	6.2億円	20.3億円	(4.6億円)
公共私との協力関係構築	3.9億円	21.8億円	(1.5億円)
市有財産の売却 他	3.9億円	21.8億円	(1.5億円)
公営企業等の経営改革	12.1億円	45.7億円	(8.4億円)
収益事業収入の確保 他	12.1億円	45.7億円	(8.4億円)
取組効果額合計(一般会計+特別会計)	29.2億円	113.5億円	(25.6億円)

行財政プラン上の財政規律及び財政指標の目標

財政規律	項目	細目	R6決算	R3～R6 4年間計	規 律	
	政策的・投資的 事業の取組方針	投資的経費に係る一般財源※1	10.3億円	55.2億円	OK	4年間で60億円以内 (毎年度あたり15億円以内で投資による財政効果の範囲内)
		政策的経費に係る一般財源	11.1億円	26.2億円※2	OK	4年間で20億円以内 (毎年度あたり5億円以内で行革努力の削減効果の範囲内)
	市債の管理方針	投資的経費に係る市債発行額※1	33.1億円	145.6億円	OK	4年間で260億円以内 (毎年度あたり65億円以内で投資による財政効果の範囲内)
	基金の管理方針	公債管理基金	9.5億円 処分	39.6億円 積立		10年間の見込額平均(約77.0億円)を基準に積立及び取崩 決算剰余金の2分の1以上を優先的に積立
		公共施設等整備保全基金	1.2億円 処分	12.3億円 処分		10年間の見込額平均(約5.6億円)を基準に積立及び取崩
		一般職員退職手当基金	5.8億円 処分	8.1億円 積立		30年間の見込額平均(約7.5億円)を基準に積立及び取崩

※1 投資的経費に係る一般財源及び市債発行額については新庁舎整備分を含まない

※2 規律を超える額は行財政改革の取組効果により補てん

財政指標	項目	細目	R6決算	R3～R6 4年間計	目 標 値	
	基金現在高	標準財政規模に対する 財政調整基金の割合	18.8%※3	16.8～18.8%	達成	17%～20%の範囲内
	健全化判断比率	実質赤字比率	—	—	達成	発生させない(早期健全化基準11.30%、財政再生基準20.0%) 実質赤字がない場合は「—」と表示。
		連結実質赤字比率	—	—	達成	発生させない(早期健全化基準16.30%、財政再生基準30.0%) 連結実質赤字がない場合は「—」と表示。
		実質公債費比率	4.3%	4.3～4.6%	達成	R6年度で3%～7%程度(早期健全化基準25.0%、財政再生基準35.0%) 実質公債費比率は3年平均。
		将来負担比率	—	—	達成	R6年度で15%～55%程度(早期健全化基準350.0%) 将来負担額が公債費充当可能財源等を下回る場合は「—」と表示。
資金不足比率	資金不足比率	—	—	達成	発生させない(経営健全化基準20.0%) 資金不足額がない場合は「—」と表示。	

※3 財政調整基金の現在高は、新病院分を除く

令和6年度 第6次伊丹市総合計画に基づく主な事業

大綱1 安全・安心

事業名	説明	決算 (千円)	SDGs
1 阪神淡路大震災30年啓発事業	阪神・淡路大震災から30年の節目に、震災の教訓と復興、今後の災害時の自助・共助意識等の啓発を目的として防災啓発イベントを開催。	251	
2 新庁舎整備事業	令和7年3月に駐車場整備工事及び周辺道路整備工事が完了し、グランドオープン記念イベントを実施。	2,227,760	
3 物資備蓄事業	避難所における生活環境を向上するため、避難所となる小学校、共同利用施設等に対して、発電機、段ボールベッド、トイレキット等の備蓄の強化を実施。	1,915	
4 雨水ポンプ場改築工事・雨水幹線更新事業	西野・中野東雨水ポンプ場外壁及び屋上防水改修や北河原地区雨水管渠改築工事実施設計等を実施。	98,230	
5 学校施設における応急給水設備整備事業	給水車からの直接給水だけでなく受水槽からの拠点給水を可能とする給水バルブを緑丘小・昆陽里小・伊丹小・神津小を除く22校(小・中・高等学校)の受水槽に設置。	12,609	
6 消防車両整備更新事業	荒牧・池尻小型水槽付消防ポンプ自動車、西署救助工作車及び東署第1救急自動車の計4台を更新。	411,201	

大綱2 育ち・学び・共生社会

事業名	説明	決算 (千円)	SDGs
1 学校給食無償化等事業	子育て世帯の負担軽減を図るため、中学校給食の無償化を実施し、小学校給食の食材費高騰分を支援。	306,050	
2 民間児童クラブ誘致事業	児童クラブ利用希望者の増加や多様化するニーズに対応するため、伊丹小学校地区、稲野小学校地区に民間児童クラブを誘致。	17,798	
3 私立保育所等整備事業	保育所等における待機児童の解消を図るため、認可保育所を整備する民間保育事業者に対し、施設整備費等の補助を実施し、私立保育園3園が令和7年4月に開園。	643,752	
4 不登校対策パッケージ事業	不登校対策支援員等の専門職と協働するなど、新たな重層的なチームによる不登校対策を実施。	99,656	
5 学校体育館空調設備整備事業	児童生徒の熱中症予防及び、避難所環境の向上を目的に、令和7年度までの2力年で整備するうち、令和6年度は小学校7校・中学校4校で整備を実施。	432,645	
6 子ども電子図書館事業	学校や家庭などでいつでも読書を楽しめる電子図書館を導入し、主に幼児から中学生を対象とした電子図書約1,500冊を購入。	6,750	

令和6年度 第6次伊丹市総合計画に基づく主な事業

大綱3 健康・医療・福祉

事業名	説明	決算 (千円)	SDGs
1 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業	高齢者に対するフレイル予防の啓発を効果的に進めるため、口腔機能低下(オーラルフレイル)予防に関する健康教育を実施。	852	
2 市立伊丹病院統合再編整備事業	東棟、職員宿舎・保育所棟、立体駐車場を整備し、仮運用を開始。また、既存施設の部分解体、西棟整備工事に伴い確認された土壌汚染対策工事に着手。	6,482,107	  
3 带状疱疹ワクチン接種費助成事業	带状疱疹の発症及び重症化予防を図るため、任意で带状疱疹ワクチン接種を受ける方の接種費用の助成を実施。	3,880	 
4 住民税非課税世帯等臨時特別給付金事業	エネルギー・食料品価格等の物価高騰に直面し、特に家計への影響が大きい住民税非課税世帯等に対し、臨時特別給付金を支給。	2,835,018	 
5 地域生活支援拠点等の機能強化	障がい者が住み慣れた地域で安心して暮らしていけるよう、夜間・休日等緊急時の相談に対応できる相談支援体制を整備。	4,648	
6 産後ケア事業の充実	安心して子育てができる環境を整備するため、宿泊型・通所型サービスを利用できる施設の追加及び通所型サービスでの利用時間の拡充を実施。	8,421	

大綱4 市民力・にぎわい・活力

事業名	説明	決算 (千円)	SDGs
1 地域活動拠点整備事業	いたみ交流センターの建築工事等を実施し、令和7年4月に供用開始。	406,227	 
2 地域総括交付金交付事業	地域自治組織に対し、地域における自立的なまちづくり活動について地域総括交付金を交付。	26,320	  
3 日本遺産推進(清酒発祥の地PR)事業	日本遺産及び「清酒発祥の地 伊丹」の認知度向上や域内への誘客を図るため、講座等の実施や大阪・関西万博2025に向け観光パンフレット等PRツールを制作。	3,562	
4 文化会館及び音楽ホール設備等改修事業	安全で快適な利用環境の維持のため、文化会館の舞台音響設備改修工事等を実施。	27,181	 
5 伊丹市文化振興ビジョン策定事業	本市が目指す文化振興施策の方向性を示す「伊丹市文化振興ビジョン(令和7年度～令和18年度)」を策定。	416	 
6 創業支援事業	地域経済の活性化と雇用の創出を目的に、各種セミナーの実施や創業者に対し事業所等の賃借料等の一部補助を23件実施。	10,239	

令和6年度 第6次伊丹市総合計画に基づく主な事業

大綱5 環境・都市基盤

事業名	説明	決算 (千円)	SDGs
1 デコ活推進啓発事業	官民連携で日常生活に密着した住宅、家電、自動車、省エネ、再エネ等をテーマにした体験型環境啓発イベントや広報啓発を実施。	1,009	
2 昆陽池公園トイレ改修・更新事業	昆陽池公園の多目的広場トイレを、公園の景観に調和し、環境にやさしく、災害にも対応した、誰もが安心して快適に使える「人と環境にやさしいトイレ」に更新。	98,648	
3 市営住宅等整備保全事業	市営住宅等整備計画に基づき、耐震補強工事及び外壁・屋上防水改修工事及び単身高齢者世帯の住宅確保に向けて住戸タイプの小型化工事を実施。	370,513	
4 モビリティ・マネジメント推進事業	市内在住の小学生を対象に、夏休み期間中、市営バス等が乗り放題になる乗車券「いたみっ子おでかけパス」の販売やスタンプラリーを開催。	624	
5 道路維持補修事業(舗装補修、共同調査研究)	安全で快適な道路を維持するための舗装補修工事及び(一財)地方自治研究機構と共同で、空洞化リスクのある道路の調査・分析等を実施。	56,592	
6 水道管路AI劣化予測診断・人工衛星画像を活用した広域漏水調査事業	水道管路の情報と環境ビッグデータを組み合わせ、将来の水道管路の破損確率を高精度に解析。人工衛星画像を活用して漏水疑い箇所を抽出。	13,125	

大綱6 参画と協働・行政経営

事業名	説明	決算 (千円)	SDGs
1 データ連携型生成AI導入事業	業務における生産性や品質の向上、働き方改革を推進するため、データ連携型生成AIを導入。	556	
2 地方公共団体情報システム標準化・共通化事業	令和6年度から2カ年かけて、国が推進するシステム標準化・共通化への対応を実施。	2,718	
3 戸籍総合システム改修委託事業	令和7年度の開始に向け、戸籍へ氏名の振り仮名を追加するためのシステム改修を実施。	4,664	
4 車両更新事業	2050年の脱炭素社会実現に向け、更新時期を迎えた公用車7台を電気自動車に更新。	9,469	
5 期日前投票所の拡充事業	投票の利便性向上のため、大型商業施設に期日前投票所を設置する準備を実施。	3,219	
6 職員採用事業	多様化する市民ニーズに的確に対応するべく、質の高い人材を引き続き確保していくため、インターンシップ事業を拡充するとともに、SNSによる情報発信を実施。	2,312	

第6次伊丹市総合計画 前期実施計画の総括

計画期間の令和3年度から令和6年度は、新型コロナウイルス感染症の蔓延から収束と生活環境が大きく変化するとともに、エネルギーや食料品等の物価高騰が市民生活を直撃しました。感染拡大や物価高騰の影響を受けた地域経済や住民生活を支えるための給付や支援を迅速かつ機動的に対応しつつ、「新庁舎整備」「子育て支援の充実」「統合新病院の整備」「ゼロカーボンシティの実現」「DXの推進」など市の発展や魅力向上に資する事業に積極的に取り組み、98.7%の実施策で、目標を「ほぼ達成」または「十分達成」しました。

計画年度中(R3~R6)の主な取り組み

大綱 1 安全・安心

- 市役所新庁舎を令和4年11月に供用開始し、旧施設の解体・外構工事を経て、令和7年3月にグランドオープン
- 笹原公園に備蓄倉庫を整備するとともに、災害対応物資の整備や備蓄を強化
- 断水時の拠点給水を可能とする応急給水バルブを小・中・高等学校22校の受水槽に設置

大綱 2 育ち・学び・共生社会

- 中学校給食費を無償化するとともに、小学校給食費の食材費上昇分を公費で支援
- 待機児童対策として公立こども園の整備や民間保育所11カ所の整備を支援(定員610名増)
- 保育所等を2人以上同時利用時の第2子保育料の無償化

大綱 3 健康・医療・福祉

- 統合新病院の整備工事に着手
- 「いたみ総合保健センター」を令和4年11月に供用開始
- 中学生までの医療費の完全無償化、高校生世代の入院費無償化

大綱 4 市民力・にぎわい・活力

- 瑞穂小学校区、鈴原小学校区、伊丹小学校区において共同利用施設等を集約し、地域活動拠点を整備
- コロナ禍の消費喚起や物価高騰対策として商店街等が取り組むプレミアム付商品券の発行を支援
- みやのまえ文化の郷に博物館の機能を統合した「市立伊丹ミュージアム」を整備

大綱 5 環境・都市基盤

- 市民や事業者に対し太陽光パネル等の共同購入を支援し、たみまる太陽光クラブの加入を促進
- 市バスの混雑状況や車両位置等が検索できる「いたみバスナビ」を運用開始
- 昆陽池公園の多目的広場にデザイントイレを整備

大綱 6 参画と協働・行政経営

- 新庁舎開庁にあわせスマート窓口や公衆Wi-Fiを整備
- 転出届や住民票の写し等のオンライン申請サービスを開始し、クレジットカード等のオンライン決済機能を充実
- 水道料金・下水道使用料の基本料金・基本使用料を減免(通算5期10か月)

9月補正予算規模

一般会計:	2,047,726	千円
特別会計:	527,194	千円
公営企業会計:	552,685	千円
<hr/>		
合計:	3,127,605	千円

誇りあるまちを、次の世代へ。

すべての「人」を中心に据えて 未来へつなぐまちづくり

子育て世代への支援

- ・物価高騰対応として子育て世帯の負担を軽減するため、令和8年2月・3月分の小学校給食費を無償化します。
- ・待機児童ゼロを継続するため、保育需要の増加が見込まれる市南部地域において民間認可保育所の設置・運営事業者の誘致を行います。

安全を守るための取組

- ・施設利用者の熱中症対策や災害時の避難所環境の向上を目的とし、スポーツ施設等で体育館空調設備を整備します。
- ・伊丹スポーツセンターの体育館機能強化と避難所環境向上のため、各階にバリアフリートイレを整備します。
- ・新型コロナウイルスワクチンの定期予防接種について被接種者の自己負担の軽減を図ります。
- ・市内企業からの寄附を活用し、障害者デイサービスセンターの経年劣化した車両4台を更新します。

都市ブランディングの推進

- ・伊丹市の「住みやすさ」をブランド化し、市民の満足度や愛着度を向上させるため、市の理念や存在意義（パーパス）に共感を得ることによるブランド価値向上の戦略構築を図ります。
- ・SNSや動画など広報の質を高め、住民への効果的な情報発信を実現するため、専門的な知見を有するクリエイターを採用し、メディアを効果的に活用します。

○小学校給食費無償化事業： 75,584 千円
 ○私立保育所等整備事業： (債務負担行為) 212,590 千円

○スポーツ施設等体育館空調設備整備事業： 314,710 千円
 ○スポーツセンター体育館バリアフリートイレ整備事業： 43,450 千円
 ○スポーツセンター整備方針策定支援等事業： 12,786 千円
 ○新型コロナウイルスワクチン接種事業： 13,820 千円
 ○障害者デイサービスセンター送迎用車両購入事業： 19,967 千円

○ブランド戦略調査・分析事業： (債務負担行為) 13,448 千円
 ○広報力向上事業： 4,638 千円

小学校給食費無償化事業

物価高騰対応として子育て世帯の負担を軽減するため、令和8年2月・3月分の小学校給食費(児童1人あたり約7,500円相当)を無償化します。

※給食費は児童の登校状況や各学校の授業予定等により変動します。

■事業費内訳

2月・3月分給食費無償化 : 75,584千円

75,584 千円



無償化対象	無償化額
令和8年2月分	約4,200円
令和8年3月分	約3,300円
合計	約7,500円

私立保育所等整備事業

待機児童ゼロ(令和7年4月時点:9年連続待機児童ゼロ)を継続するため、保育需要の増加が見込まれる市南部地域において、令和9年4月開園(定員60名程度)の民間認可保育所1施設の整備を補助します。

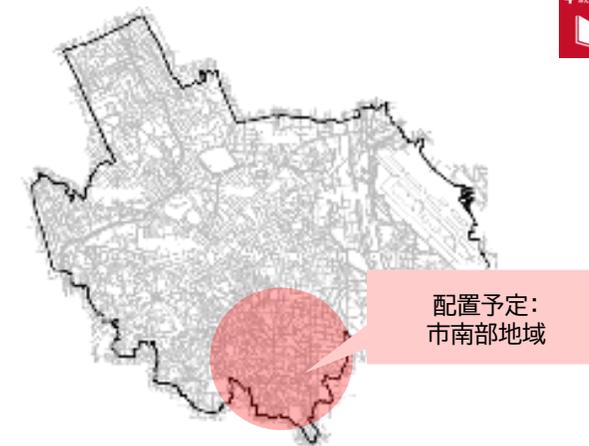
■事業費内訳

(債務負担行為)

保育所等施設整備事業補助金 : 212,590千円

債務負担行為 (R7~R8)

212,590 千円



スポーツ施設等体育館空調設備整備事業

昨今の猛暑の状況を受け、スポーツ施設等体育館において施設利用者の熱中症対策や災害時の避難所環境の向上を図るため、空調設備を整備します。

(令和8年度中に供用開始)

■事業費内訳

労働福祉会館体育館空調設備整備工事費	: 58,520 千円
スポーツセンター体育館空調設備整備工事費	: 147,400 千円
緑ヶ丘体育館第1体育室及び武道館空調設備整備工事費	: 108,790 千円

314,710 千円



緑ヶ丘体育館



伊丹スポーツセンター



スポーツセンター体育館バリアフリートイレ整備事業

伊丹スポーツセンターの体育館機能の強化と避難所環境の向上を目的としたユニバーサルデザイン化を促進するため、令和8年度中に各階にバリアフリートイレを整備します。

(令和8年度中に供用開始)

■事業費内訳

スポーツセンター体育館バリアフリートイレ整備工事費	: 43,450 千円
---------------------------	-------------



43,450 千円



階数	フロア概況	整備後設置数 (現在数)
1階	競技フロア(メインアリーナ) 剣道場、多目的室等	2(1)
2階	トレーニングルーム、観覧席等	1(0)
3階	卓球場、柔道場、ランニング場 車いす用観覧席等	1(0)

スポーツセンター整備方針策定支援等事業

12,786 千円

伊丹スポーツセンターは令和7年3月に策定した「伊丹市スポーツ施設ストック適正化計画基本方針」に基づき、「機能保持」施設として順次改修を進めていく施設と位置付けています。利用者ニーズに基づく施設の機能拡充、経年劣化や社会的劣化に伴う機能改修等、施設整備にあたり必要な技術的視点に基づく工法検討業務及び耐震診断業務を委託します。



■事業費内訳

- ①耐震診断業務(陸上競技場施設・野球場施設等) : 10,670 千円
- ②伊丹スポーツセンター整備方針策定支援業務 : 2,116 千円

新型コロナウイルスワクチン接種事業

13,820 千円

本年10月から開始する令和7年度の新型コロナウイルスワクチンの定期予防接種費用について、国による補助がなくなり自己負担額が増加することから、予防接種委託料等を補正し、自己負担額が12,000円から8,000円となるように被接種者の負担軽減を図ります。

■事業費内訳

- 予防接種委託料等 : 13,820 千円



障害者デイサービスセンター送迎用車両購入事業

障害者デイサービスセンターにおいて、利用者の自宅等とセンター間の送迎を行う車両（全7台）のうち、経年劣化した4台を市内企業からの寄附を活用し更新します。

■事業費内訳
車両購入費
手数料等

: 19,454 千円
: 513 千円

19,967 千円



障害者デイサービスセンター送迎車両



債務負担行為 (R8)

13,448 千円

ブランド戦略調査・分析事業

伊丹市の「住みやすさ」をブランド化し、市民の満足度や愛着度を向上させるため、市の理念や存在意義(パーパス)に共感を得ることによってブランド価値を高める戦略の構築を図ります。その戦略により、移住・定住を促進するとともに、転出の抑制につなげます。令和7年度～8年度はパーパス策定、ブランド戦略策定の基礎データの調査・分析を行います。



■事業費内訳

(債務負担行為)

パーパス策定委託料	: 5,560 千円
ブランド戦略調査・分析委託料	: 7,888 千円

■事業計画



広報力向上事業

広報の質を高め、住民への効果的な情報発信を実現するため、デザイン及び動画制作の実績を持つ、専門人材(クリエイター)の登用及び業務に必要な専門機材を購入します。

クリエイターと職員が日常的に連携し、リーフレット等広報物の作成及びデザインや動画制作を行うなど、広報体制を強化します。

■事業費内訳

人件費	: 3,232 千円
備品購入費、消耗品費等	: 1,406 千円

4,638 千円



令和7年度（2025年度）9月補正予算（案）の内訳

< 一般会計 >

(1) 歳入歳出予算の補正

(単位：千円)

	事業名	事業費	説明	国・県 支出金	地方債	その他	一般財源
1	公債管理基金積立金	577,178	決算剰余金の2分の1を下回らない額 (387,178千円)の積立て等	-	-	-	577,178
2	財政調整基金積立金	596,791	モーターボート競走事業会計からの繰入額を 統合新病院の建築費のインフレスライドに備 え(560,000千円)積立て等	-	-	-	596,791
3	健康福祉基金積立金	10,000	市内企業からの寄附金(負担付き寄附)に伴 う基金への積立て	-	-	寄 10,000	-
4	広報力向上事業	4,638	広報力の向上に向け、デザイン及び動画制作 の実績を持つ、専門人材の登用及び業務に必 要な専門機材の購入	-	-	-	4,638
5	地域ぐるみ脱炭素経営支援 事業	400	市・金融機関・商工会議所・支援機関で支援 体制を構築し、市内企業の脱炭素経営を促進 (脱炭素ガイドブック・取組事例集の作成)	-	-	繰 400	-
6	過年度国庫等返還金	302,926	令和6年度事業費の精算に伴う国庫支出金・ 県支出金等の返還	-	-	-	302,926

令和7年度（2025年度）9月補正予算（案）の内訳

（単位：千円）

	事業名	事業費	説明	国・県支出金	地方債	その他	一般財源
7	定額減税補足給付（不足額給付）事業	65,000	定額減税補足給付(令和6年度実施)を行った結果、不足が生じた方に支給する不足額給付金が当初の見込みを上回ったことによる措置	国 65,000	-	-	-
8	障害者デイサービスセンター送迎用車両購入事業	19,967	障害者デイサービスセンターの経年劣化した車両4台を更新（市内企業からの寄附を活用）	-	15,500	繰 3,000	1,467
9	地方公共団体情報システム標準化・共通化事業	2,776	後期高齢者医療事業における、システム改修に伴う特別会計への繰出金	-	-	-	2,776
10	介護施設等防災改修等支援事業	7,700	高齢者施設等の防災・減災対策を推進するため、入所系の介護施設等に対し、非常用自家発電機設備の設置費用を補助	国 7,700	-	-	-
11	新型コロナウイルスワクチン接種事業	13,820	新型コロナウイルスワクチンの定期予防接種費用について、被接種者の自己負担を軽減するため、市が負担する予防接種委託料等を補正	-	-	-	13,820
12	小学校給食無償化事業（物価高騰対策）	75,584	物価高騰に伴う子育て世帯の負担を軽減するため、令和8年2月・3月分の小学校給食費を無償化	国 63,611	-	-	11,973

令和7年度（2025年度）9月補正予算（案）の内訳

(単位：千円)

	事業名	事業費	説明	国・県支出金	地方債	その他	一般財源
13	スポーツ施設等体育館空調設備整備事業 (スポーツセンター・緑ヶ丘体育館・武道館・労働福祉会館)	314,710	施設利用者の熱中症対策と避難所環境の向上を図るため、空調設備を整備	-	314,600	繰 110	-
	同事業にかかる繰越明許費あり (P.10)						
14	スポーツセンター体育館バリアフリートイレ整備事業	43,450	体育館機能の強化と避難所環境の向上を図るため、各階にバリアフリートイレを整備	-	43,400	繰 50	-
	同事業にかかる繰越明許費あり (P.10)						
15	スポーツセンター整備方針策定支援等事業	12,786	利用者ニーズに基づく施設の機能拡充など、施設整備にあたり必要な技術的視点に基づく工法検討業務及び耐震診断業務	-	-	-	12,786
合計		2,047,726		136,311	373,500	13,560	1,524,355

令和7年度（2025年度）9月補正予算（案）の内訳

（2）繰越明許費の補正

（追加） （単位：千円）

事業名	事業費
体育施設整備事業	299,640

（3）債務負担行為の補正

（追加） （単位：千円）

	事業名	事業費	説明	期間
1	市政情報発信事業	28,145	広報紙の制作業務	令和7年度 から 令和8年度 まで
2	ブランド戦略調査・分析事業	13,448	パーパス策定、ブランド戦略策定の基礎データの調査・分析業務	令和7年度 から 令和8年度 まで
3	私立保育所等整備事業	212,590	保育需要に対応するため、令和9年4月開園（定員60名程度）の民間認可保育所1施設の整備を補助	令和7年度 から 令和8年度 まで

令和7年度（2025年度）9月補正予算（案）の内訳

（4）地方債の補正

（追加及び変更）

（単位：千円）

	事業名	限度額	
		補正前	補正後
1	車両整備事業債（障害福祉事業）	-	15,500
2	労働福祉会館整備事業債	4,700	63,200
3	社会体育施設整備事業債	29,000	328,500
	合計※	4,150,000	4,523,500

※ 合計金額は当初予算において措置された限度額を含むため、今回補正された金額の合計と一致しません。

令和7年度（2025年度）9月補正予算（案）の内訳

< 特別会計 >

(単位：千円)

	事業名	事業費	説明	国・県 支出金	地方債	その他	一般財源
1	国民健康保険事業特別会計	72,992	前年度決算剰余金等の処理	-	-	72,992	-
2	後期高齢者医療事業特別会計	10,757	前年度決算剰余金の処理及び後期高齢者医療システムの標準化に伴う所要のシステム改修	-	-	7,981	2,776
3	介護保険事業特別会計	443,445	前年度決算剰余金等の処理	-	-	443,445	-
	合計	527,194		-	-	524,418	2,776

< 公営企業会計 >

【病院事業会計】

■建設費の高騰等に伴う統合新病院整備に係る工事請負費の増 他

(単位：千円)

事業名	収入	支出	備考
収益的収入及び支出	1,361	-	(収入) 消費税及び地方消費税還付金
資本的収入及び支出	552,600	552,685	(収入) 統合新病院整備に係る企業債の増 (支出) 統合新病院整備に係る工事請負費の増 他

伊丹市の地域クラブ活動について

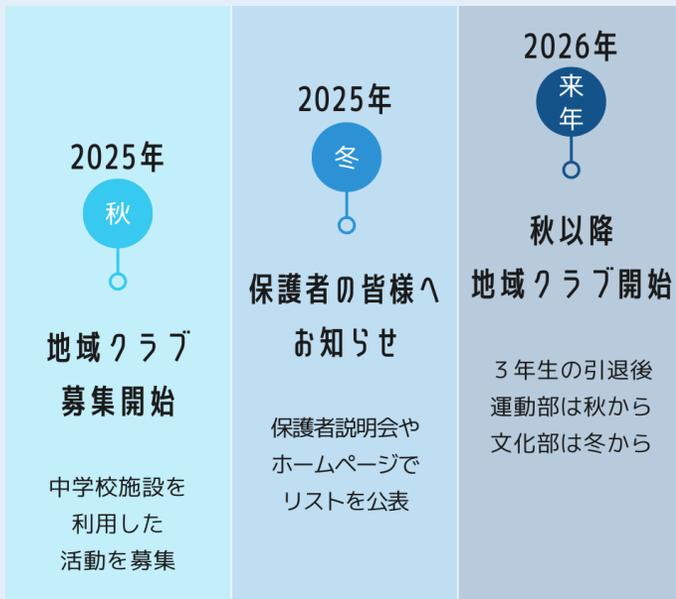
担当課：部活動地域移行チーム

これまで学校を中心に行われていた部活動は、自由で多様な「地域クラブ活動」に生まれ変わります。

子どもたち一人ひとりが「やりたい」ことを見つめ、

自分で選べる、そして熱中できる場を応援するしくみ作りを進めています。

2026年夏以降、中学校ではじまる



これからのスケジュール

学校をこえて活動の幅がひろがる



子どもたちの「やりたい」に応えるしくみ

活動の場が未来につながる



持続可能な活動に向けた考え方

中学校で実施する地域クラブ活動を募集します

担当課：部活動地域移行チーム

これまでの取組

- サッカーや陸上競技などの部活動の種目で、教職員や種目協会の協力の下、37活動を確保しています。
- 昨年度よりダンスや硬式テニスなど中学校で実施しない「届出」地域クラブを募集し、88活動を受理しています。
- 中学生と地域クラブの愛称を検討しています。

子どもたち一人ひとりの「やりたい」思いを応援する登録地域クラブを10月より公募を開始します



募集チラシのイメージ

はじまる

ガイドラインにもとづく審査を経た団体は中学校施設で活動することができます

ひろがる

これまでの学校部活動にとらわれない活動の幅をひろげるアイデアを広く募ります

つながる

会費など明確なルールによる持続的な活動で子どもたちの成長の場を未来につなげます

節目の今回は、記念イベントや新作オリジナルグッズも！

■ 鳴く虫と郷町20回記念シンポジウム

～鳴く虫と郷町のこれまでとこれから～

.....



小山田 徹氏

識者と「鳴く虫と郷町」の立上げメンバーによる対談などで、将来の「鳴く虫と郷町」像をあぶり出します。

日時：**9/13 (土) 14時～**

会場：**伊丹市立図書館「ことば蔵」**

地下1階 多目的室1

登壇：**小山田 徹** (京都市立芸術大学 学長)

中脇 健児 (大阪芸術大学 准教授)

卓 彦伶 (北海道大学 講師：博物館学) (ほか)

定員：100人。無料

申込：伊丹市昆虫館 (Tel 072-785-3582) へ。先着順



伊丹酒蔵通り「まち灯りと鳴く虫」

担当課：都市計画課

江戸時代の習慣であった「虫聴き」をアレンジしながら行灯を並べて和風の夜間景観を楽しむイベントを実施！



写真：行灯の影絵演出の様子

実施日時

令和7年9月5日（金）～7日（日）、12日（金）～14日（日）

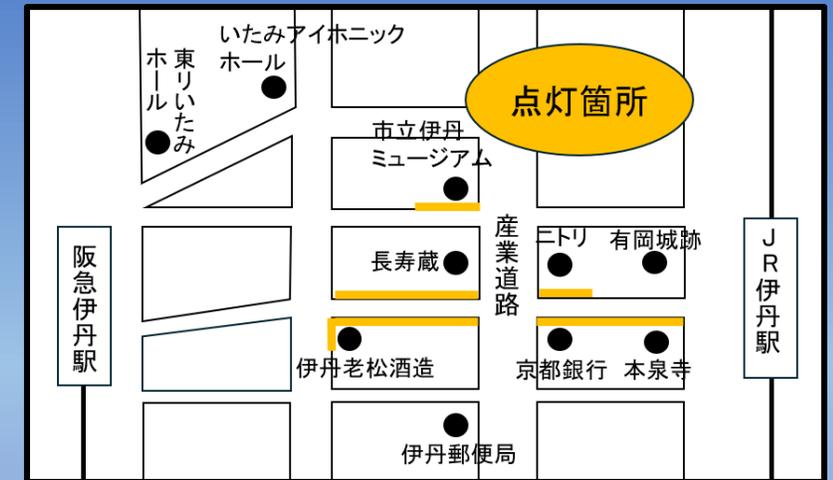
※夕暮れより点灯（雨天中止）

実施場所

- ・伊丹酒蔵通り
- ・市立伊丹ミュージアム周辺

主催：伊丹酒蔵通り協議会

後援：伊丹市



伊丹酒蔵通り協議会が発足した平成19年から、毎年秋・冬に通りを行灯で演出しています。イラストや手作業により施して切り絵もあり、行灯の光によって白壁に美しい影絵を生み出します。

鳴く虫と郷町 オリジナルグッズ

担当課：文化振興課
鳴く虫と郷町実行委員会、
(公財)いたみ文化・スポーツ財団

新作



Tシャツ(インディゴorダークブラウン) 各 ¥2,500



スズムシブローチ
¥500

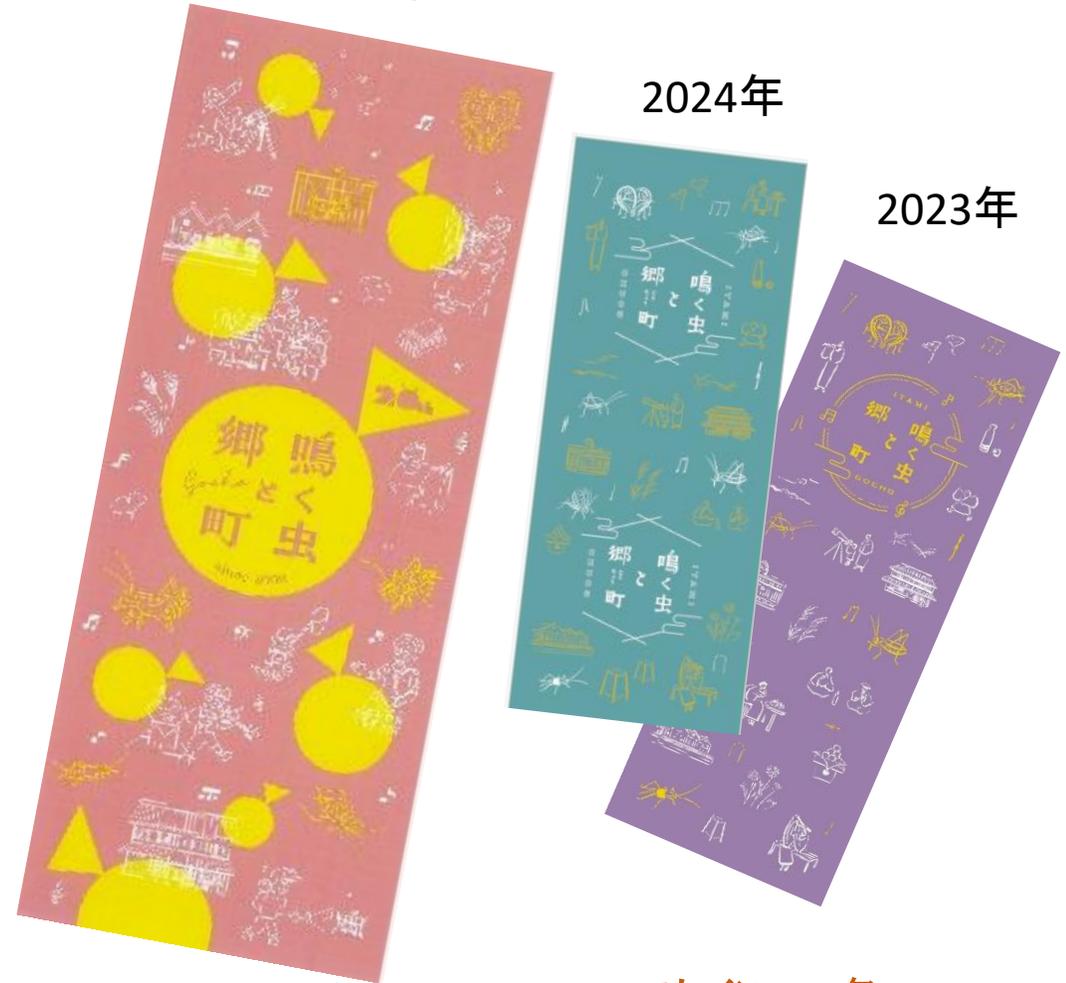


一筆せん
¥400

2025年

2024年

2023年



てぬぐい 各 ¥800